

様式3-3-1-1 職業能力証明(訓練成果・実務成果)シート (企業実習・OJT用)

訓練時の職務 **共同受信設備の設計・施工**

訓練参加者氏名

支援ツールの電気通信施工科から、電波障害対策工事共同受信設備の職業能力証明シートを選択。
職業能力証明シートの職務内容や仕事の体系の該当する部門・職務名を参考にする。

上記の者の訓練期間における訓練職務内容と当社としての職業能力についての評価は、以下のとおりです。

年 月 日

実習実施企業

所在地

評価責任者 氏名

印

名称

代表者氏名

印

I 企業実習・OJT期間内における職務内容

期 間	区分	職務内容
平成〇〇年〇月〇日～ 平成〇〇年〇月〇日	企業実習 又は OJT	電波障害対策工事での共同受信設備設置に関する業務に従事した。

II 職務遂行のための基本的能力 (「職務遂行のための基準」ごとに、該当する欄に○を記載)

A:常にできている B:大体できている C:評価しない 「評価を行わなかった」場合は/ (斜線)でC欄を消す

能力ユニット	自己評価			企業評価			職務遂行のための基準
	A	B	C	A	B	C	
働く意識と取組 (自らの職業意識・勤労観を持ち職務に取り組む能力)							(1) 法令や職場のルール、慣行などを遵守している。 (2) 出勤時間、約束時間などの定刻前に到着している。 (3) 上司・先輩などからの業務指示・命令の内容を理解して従っている。 (4) 仕事に対する自身の目的意識や思いを持って、取り組んでいる。 (5) お客様に納得・満足していただけるよう仕事に取り組んでいる。
責任感 (社会の一員としての自覚を持って主体的に職務を遂行する能力)							(1) 一旦引き受けたことは途中で投げ出さずに、最後までやり遂げている。 (2) 上司・先輩の上位者や同僚、お客様などの約束事は誠実に守っている。 (3) 必要な手続や手間を省くことなく、決められた手順どおり仕事を進めている。 (4) 自分が犯した失敗やミスについて、他人に責任を押し付けず自分で受け止めている。 (5) 次の課題を見据えながら、手がけている仕事に全力で取り組んでいる。
ビジネスマナー (円滑に職務を遂行するためにマナーの良い対応を行う能力)							(1) 職場において、職務にふさわしい身だしなみを保っている。 (2) 職場の上位者や同僚などに対し、日常的な挨拶をきちんと行っている。 (3) 状況に応じて適切な敬語の使い分けをしている。 (4) お客様に対し、礼儀正しい対応 (お辞儀、挨拶、言葉遣い) をしている。 (5) 接遇時、訪問時などに基本的なビジネス・マナーを実践している。
コミュニケーション (適切な自己表現・双方向の意思疎通を図る能力)							(1) 上司・先輩などの上位者に対し、正確にホウレンソウ (報告・連絡・相談) をしている。 (2) 自分の意見や主張を筋立てて相手に説明している。 (3) 相手の心情に配慮し、適切な態度や言葉遣い、姿勢で依頼や折衝をしている。 (4) 職場の同僚等と本音で話し合える人間関係を構築している。 (5) 苦手な上司や同僚とも、仕事上支障がないよう、必要な関係を保っている。
チームワーク (協調性を発揮して職務を遂行する能力)							(1) 余裕がある場合には、周囲の忙しそうなの仕事を手伝っている。 (2) チームプレーを行う際には、仲間と仕事や役割を分担して協同で取り組んでいる。 (3) 周囲の同僚の立場や状況を考えながら、チームプレーを行っている。 (4) 苦手な同僚、考え方の異なる同僚であっても、協力して仕事を進めている。 (5) 職場の新人や下位者に対して業務指導や仕事のノウハウ提供をしている。
チャレンジ意欲 (行動力・実行力を発揮して職務を遂行する能力)							(1) 仕事を効率的に進められるように、作業の工夫や改善に取り組んでいる。 (2) 必要性に気づいたら、人に指摘される前に行動に移している。 (3) よいと思ったことはどんどん上位者に意見を述べている。 (4) 未経験の仕事や難しい仕事でも「やらせてほしい」と自ら申し出ている。 (5) 新しい仕事に挑戦するため、資格取得や自己啓発などに取り組んでいる。
考える力 (向上心・探求心を持って課題を発見しながら職務を遂行する能力)							(1) 作業や依頼されたことに対して、完成までの見通しを立てて、とりかかっている。 (2) 新しいことに取り組むときには、手順や必要なことを洗い出している。 (3) 仕事について工夫や改善を行った内容を再度点検して、さらによいものになっている。 (4) 上手くいかない仕事に対しても、原因をつきとめ、再チャレンジしている。 (5) 不意の問題やトラブルが発生したときに、解決するための対応をとっている。
(総評・コメント)							

このまま使用する。

Ⅲ 技能・技術に関する能力

(1) 基本的事項 (「職務遂行のための基準」ごとに、該当する欄に○を記載)

A:常にできている B:大体できている C:評価しない 「評価を行わなかった」場合は/ (斜線) でC欄を消す

能力ユニット	自己評価			企業評価			職務遂行のための基準	コード
	A	B	C	A	B	C		
安全衛生及び諸ルールの遵守							(1) 会社や工場の定める安全規程の内容を正しく理解し、これに反する行動は行っていない。	B002101
							(2) 環境問題に対する意識をもち、廃液・廃棄物の処理やリサイクル・分別収集など、ルールに則った行動をとっている。	B002101
							(3) 事故防止のため心身の健康を自己管理している。	B002101
							(4) 作業場を常に整理するなど、危険を誘発する要因の除去に努めている。	B002101
							(5) 「多分大丈夫だろう」という意識ではなく、「ひよっとしたら事故が起きるかもしれない」という問題意識をもって、日頃から慎重に作業を行っている。	B002101
改善活動による問題解決							(1) 生産全体の中での自分の担当工程や担当作業の役割を正しく理解している。	B002101
							(2) 加工、組立、検査、保全など担当作業の標準作業を把握し、正しい方法で作業を行っている。	B002101
							(3) 作業の実施方法や実施手順に曖昧な点がある場合には、曖昧なままにすることなく解決している。	B002101
							(4) 自分なりに工夫しながら仕事を行い、些細なことであっても改善を試みている。	B002101
							(5) 常に身の回りの整理・整頓や清掃を行うなど、作業しやすく衛生的な環境づくりを行っている。	B002101
							(6) 小集団活動など組織的に改善活動に取り組んでいる場合には、積極的に活動に参加している。	B002101
関係者との連携による業務の遂行							(1) 自社(工場)の組織構造、各工程の役割分担等について一通り理解している。	B002101
							(2) 同僚や先輩から上手な仕事のやり方やコツを吸収している。	B002101
							(3) 上司や先輩からの助言や指導に沿った行動をとっている。	B002101
							(4) 担当外の事項に関する依頼であっても、丁寧に対応したり担当者を紹介したりする係・信頼関係の構築に努めている。	B002101
							(5) 前後シフトや前後工程の担当者との間に協力的な関係を構築すべく、日頃からコミュニケーションに努めている。	B002101
							(6) 会社行事や各種懇親会など、仕事以外の集まりにも積極的に参加し、職場以外の人的ネットワークを広げるよう努めている。	B002101
(総評・コメント)								

(2) 専門的事項 (「職務遂行のための基準」ごとに、該当する欄に○を記載)

(評価基準の出所:独立行政法人雇用・能力開発機構)

「日本版デュアルシステム訓練修了後の評価項目作成支援ツール」

A:常にできている B:大体できている C:評価しない 「評価を行わなかった」場合は/ (斜線) でC欄を消す

能力ユニット	自己評価			企業評価			職務遂行のための基準	コード
	A	B	C	A	B	C		
テレビ共同受信施設の基本事項把							(1) 地形的条件を考慮にいれて受信点の選定ができる	K070701
							(2) 対策を必要とする地域になるべく近い事を考慮に入れて選定ができる	K070701
							(3) 風雨や土砂崩等による被害のおそれがない様に選定ができる	K070701
							(4) 受信点装置の設置に必要な面積がある事を考慮に入れて選定ができる	K070701
							(5) 用地の確保(買収または借地)が容易(共有地、区有地等がよい)である事を考慮にいれ選定ができる	K070701
							(6) 電源供給器を設置する場合は、低圧配電線に近いことを考慮にいれて選定ができる	K070701
							(7) 伝送線路を添架するために配電線路に近いことを考慮にいれ選定ができる	K070701
							(8) 伝送路は、配電添架の既設配電柱線路を主体とし選定する事を知っている	K070701
							(9) 配電線ホールマップ等により、添架可能でかつ受信点と対策地域が最短で結ばれるよう選定する事を知っている	K070701
							(10) 対策(共聴)地域の中心を通過するケーブルルートを選定する事を知っている	K070701
							(11) 他社設備への共架線路および独立線路は必要最小限となるルートを選定する事を知っている	K070701
受信点確認							(1) 受信アンテナ設置予定地において水平パターン(ハイドパターン)の測定ができる	K070702
							(2) 受信アンテナ設置予定地において垂直パターン(ハイドパターン)の測定ができる	K070702
							(3) 受信アンテナ設置予定地においてゴーストアナライザー(PDUR計)の測定ができる	K070702
							(4) 受信アンテナ設置予定地において測定用テレビの受信状況の写真撮影および画像評価ができる	K070702
							(5) 地形的条件(テレビ共同受信施設の基本事項)を考え地形の調査ができる	K070702
							(6) 伝送線路経過地の選定を考え地形の調査ができる	K070702
							(7) その他で考慮する事項を考え地形の調査ができる	K070702
							(8) 設計で選定したルートを実際に選定した条件どおりになっている事の確認ができる	K070702
受信点・支持物測量							(1) 受信点敷地の平面測量(必要な場合は縦断測量)ができる	K070703
							(2) 受信点敷地の借地または購入のため必要な面積測量ができる	K070703
							(3) 伝送線路について径間長、水平角度の(水平)測量ができる	K070703
							(4) 受信点から各受信者宅まで全施設について、線路図を作成するために必要な(平面)測量ができる	K070703
							(5) 架渉線の種類、条数および管理者の調査ができる	K070703
							(6) 柱上変圧器の有無、取付高さ、引下線取付状態の調査ができる	K070703
							(7) コンクリート柱の設計水平荷重の調査ができる	K070703
							(8) 支線支柱に取付方向、取付位置、支線棒の太さを測量・調査ができる	K070703
							(9) 支持物地表面の太さ、副木、継柱の有無、木柱腐食の程度の調査ができる	K070703
							(10) 支持物管理者名、種類、番号、型別の調査ができる	K070703
							(11) 最下段架渉線の地上高、上段に至る架渉線の取付間隔の測量・調査ができる	K070703
							(12) 鉄道、軌道、河川、道路横断箇所等諸願書を要する部分の縦断測量ができる	K070703
							(13) 山岳地その他土地の起伏がはなはだしいなど設計上必要な部分の縦断測量ができる	K070703
							(14) 線路中心線にある鉄道、軌道、主要道路、他の電線路、建造物その他の工作物の接近物測量ができる	K070703
							(15) 相互の支持物高さに相当する水平距離以内に接近する他の電線路の接近物測量ができる	K070703
							(16) 線路中心線から水平距離で3m以内に接近する建造物の接近物測量ができる	K070703
							(17) 横断物、接近物の地表上の高さ、交差角度の測量・調査ができる	K070703
							(18) 接近物の最小接近水平距離の測量ができる	K070703
							(19) 横断物、接近物の種類、管理者名、支持物種類および番号、電線種類および太さの調査ができる	K070703
							(20) 鉄道、軌道にあつては駅間名、機転からの距離の調査ができる	K070703
						(21) 架空強電線との接近、交差において、碍子装置の方式、個数、保護線や支線の有無、径間長の調査ができる	K070703	
受信点装置の施工							(1) 受信点は、強風(最大瞬間風速40m/s以上、平均風速25m/s)に十分耐えるように考慮した施工を知っている	K070705
							(2) 避雷針の設置が建設基準法で義務付けられている場合は日本工業規格(JIS A4201)により施工ができる	K070705
							(3) 同軸ケーブル(光ケーブル)の架設ができる	K070705
							(4) 配電添架または共架をする場合は、既設設備に支障を及ぼさないように施工ができる	K070705
							(5) ケーブルの支持(直線装置、角度装置、傾斜装置等)の施工ができる	K070705
							(6) ケーブルの弛度をケーブルの種類、風圧条件、径間長、架線時の温度等の条件により適度な地度を求めて設定できる	K070705
							(7) 家屋への引込は、引留等の美観、地上高、離隔の確保等を考慮して施工ができる	K070705
							(8) 屋内ケーブル布設工事は、屋主の了解を得たルートで建造物、屋内家具等に損傷を与えないように施工ができる	K070705

(総評・コメント)	
-----------	--

(注意事項)

- 1 「区分」欄には、「企業実習」又は「OJT」を記入してください。
- 2 「コード」欄には、「職務遂行のための基準」の出典にコード又は職業能力評価基準のユニット番号等がある場合に記入してください。
- 3 記入しきれないときは、適宜枠の数を増やす等により記入してください。
- 4 本シートは、電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをもって作成することができます。